

令和元年度(2019年度)

管理事業名	保健推進事業				総合計画の 施策体系	大綱 3 政策 4 施策 1	福祉・健康 健康・医療のまちづくり 健康づくりの推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1	保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健センター (健康まちづくり室、保健センター、高齢福祉室)				
予算大事業名 保健推進事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健センター費 一般事務事業、保健推進事業 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健事業費 保健推進事業						
事業の目的と概要 【目的】「吹田市健康づくり都市宣言」のもと、市民一人ひとりの主体的な健康づくりの支援に向けて、健康づくりの普及・啓発を行い、また市民が積極的に健康づくりに取り組むことが可能な環境づくりを整備します。 【概要】健康づくり活動推進事業(健康づくり活動を推進する事業に対する補助) 南千里分館管理事業(千里ニュータウンプラザ内保健センター南千里分館等の維持管理) 保健増進事業(健康教育の実施やすいた健康サポーターの育成・活用に関することなど) 健康すいた21推進事業(市民の自主的な健康づくりを推進するための施策推進など) 食育推進事業(食に関する意識の向上や食生活の改善による市民の健康の保持・増進) たばこ対策推進事業(受動喫煙防止や禁煙支援などたばこ対策の取組に関すること)など							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
食育講演会参加者数	人	196	152	100	食育に関する講演会の参加者数
禁煙治療一部助成金交付者数	人	49	59	37	禁煙治療費一部助成金制度の交付者数
成果の説明	健康に関する意識の向上を図るため、各種講演会を開催しました。なお、講演会の参加者数の減少については、開催会場の変更によるものです。喫煙が循環器病等の様々な疾患の主要な原因であることを踏まえ、禁煙に関する啓発や治療費の一部を助成するなど、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを推進しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	149	149
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	2,288	2,288
経常収入 小計(a)	-	-	2,437	2,437
給与関係費	-	-	63,474	63,474
物件費	-	-	62,406	62,406
維持補修費	-	-	18	18
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	37,442	37,442
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	4,570	4,570
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	4,504	4,504
退職手当引当金繰入額	-	-	4,852	4,852
支払利息	-	-	6,883	6,883
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	184,149	184,149
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△181,712	△181,712
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△181,712	△181,712
一般財源充当額	-	-	202,931	202,931
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	21,219	21,219

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金 (経常費用 充当)	大阪府自殺対策強化事業補助金 128,000円 大阪府農水産物消費拡大事業補助金 21,020円
給与関係費	事務従事人数の月平均6.63人の給与関係費 63,473,750円
物件費	需用費(光熱水費) 2,544,476円 委託料(施設管理委託料など) 52,196,510円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	2,437	2,437
行政サービス活動支出	-	-	177,949	177,949
行政サービス活動収支差額	-	-	△175,512	△175,512
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	27,420	27,420
財務活動収支差額	-	-	△27,420	△27,420
収支差額 合計	-	-	△202,931	△202,931
一般財源充当額	-	-	202,931	202,931
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 大阪府後期高齢者医療広域連合受託収入 2,119 千円
--------------	------------------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度		円	市民の健康に係るコストは1人あたり492円となっております。 (令和2年3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成30年度		円	
	令和元年度	373,978 人	492 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	32,057	32,057
未収金	-	-	-	地方債	-	26	26
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	4,504	4,504
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	428	428
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	27,099	27,099
事業用資産	-	153,350	153,350	固定負債	-	342,222	342,222
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	208	208
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	150,249	150,249	退職手当引当金	-	41,255	41,255
リース資産	-	3,101	3,101	リース債務	-	2,673	2,673
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	298,086	298,086
無形固定資産	-	76	76	負債の部合計	-	374,278	374,278
固定資産	-	-	-	純資産	-	△15,826	△15,826
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	5,027	5,027
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	200,000	200,000
重要物品	-	5,027	5,027	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	200,000	200,000	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	200,000	200,000	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	-	358,452	358,452
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
				負債及び純資産の部合計	-	358,452	358,452

Ⅲ 財務構造分析

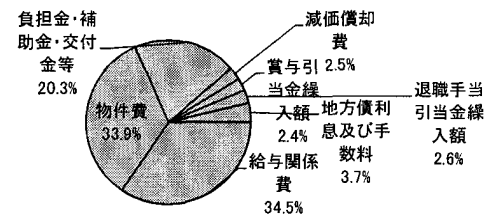
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数
	月平均	月平均			
	6.63 人	2 人		1,067 日	13 人
給与関係費等	59,296 千円	3,065 千円		10,386 千円	84 千円
内、時間外勤務手当	2,528 千円				
					合計(千円) 72,830

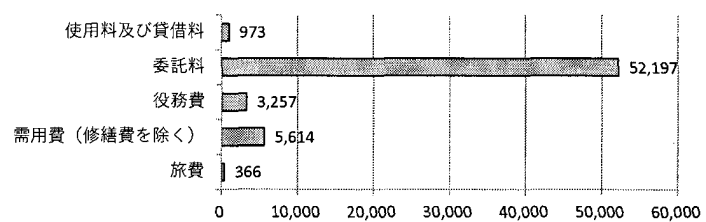
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ減価償却による150,249千円(保健センター南千里分館分)
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ建設に係る返済債務27,099千円(保健センター南千里分館分)
出資金	200,000千円は公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団への出資による

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	千里ニュータウンプラザ
取得年月日	平成24年6月1日
建物・工作物の取得価額	177,810 千円
建物・工作物の減価償却累計額	27,561 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	
施設維持補修費比率	-	-	0.0	0.0
施設老朽化比率	-	-	15.5	15.5
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	-	-	98.8	98.8
経常費用対公共資産比率	-	-	103.6	103.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

市民一人ひとりの主体的な健康を増進するためのコストは、給与関係費が63,474千円(34.5%)、物件費が62,406千円(33.9%)、負担金・補助金・交付金等が37,442千円(20.3%)となっています。
負担金・補助金・交付金等の内、34,267千円については、吹田市健康づくり活動推進補助金となっています。
事業の財源は、ほぼすべてが一般財源です。特定財源としては、自殺対策強化事業補助金等の大阪府支出金や高齢者フレイル等予防推進事業に係る受託収入、臨時雇用員の雇用保険本人負担分等です。
総合計画の体系に沿って事業単位の再編を行ったため各表の過年度の数字については表示されません。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

「健康日本21」等にもあるように、近年、国民の健康に関する意識の高まりを受け、国や府、他の自治体では様々な健康づくりの施策を進めています。本市では、健都を中心とした「健康・医療のまちづくり」を全市的に推進している中で、保健推進事業については一層充実を図っていく必要があるため、一定の職員体制強化が必要になるものと考えており、人件費が増加しやすい事業となっています。
今後は、地域の健康課題や市民ニーズに沿った魅力ある施策に、行動経済学等を利用した健康を意識せずに自然と健康になれる取組を織り込むなど、新たな事業展開を検討するとともに、効果的・効率的な実施・運営を図ります。